

※ 定員の欄の（ ）内は、基本研修の選択研修講座の受け入れとして優先する人数です。

1 横浜国立大学教育学部附属教育デザインセンター

講座名	非常勤講師等研修会		
期 日	<全3回> 平成29年 5月10日（水）・17日（水）・24日（水） 15:30~17:00 ※1回のみ受講も可能です。		
会 場	第1回 5月10日（水）	横浜花咲研修室 （横浜市西区花咲町 6-145 横浜花咲ビル 2F） 案内図は こちら	定 員 各回 100
	第2回 5月17日（水）	神奈川県立総合教育センター 善行庁舎 （藤沢市善行 7-1-1） 案内図は こちら	
	第3回 5月24日（水）	横浜国立大学教育学部附属 教育デザインセンター302 講義室 （横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-2） 案内図は こちら	
内 容	第1回 5月10日（水）	講義「子どもが主体的に取り組む授業づくり ～子どもの心をゆさぶる授業を～」 横浜国立大学教職大学院 教授 大内 美智子	
	第2回 5月17日（水）	講義「子ども理解・児童生徒指導」 横浜国立大学教職大学院 教授 佐野 泉	
	第3回 5月24日（水）	講義「『個』に応じた指導と個を支える『集団』の指導」 横浜国立大学教職大学院 教授 名執 宗彦	
目 的	授業づくりや子ども理解など、基本的な指導のポイントについて学びます。		
対 象	小・中・高・中等教育・特別支援学校の非常勤講師及び臨時的任用教員等		
備 考	【横浜国立大学教育学部附属教育デザインセンター連携講座】		受講決定
	横浜国立大学教育学部附属教育デザインセンターが主催し、横浜国立大学教職大学院が共催する講座です。 申込みは、横浜国立大学教育学部附属教育デザインセンターのホームページより直接行ってください。		先着順決定型 横浜国立大学教育学部附属教育デザインセンター ☎(045)339-3481 問合せ先 総合教育センター 教育相談課 ☎(0466)81-1576 (直通)

※ 定員の欄の（ ）内は、基本研修の選択研修講座の受け入れとして優先する人数です。

講座名	「授業デザイン」研修講座		
期 日	平成 29 年 8 月 18 日（金） 13：30～16：30		
会 場	横須賀市教育研究所第 1 研修室 (横須賀市久里浜 6-14-3) 案内図は こちら	定 員	80
内 容	講義・演習「授業デザイン・活動デザイン」 横浜国立大学教育学部 教授 有元 典文		
目 的	「授業デザイン・活動デザイン」の考え方・実践について学ぶとともに、ワークショップなどを通じて授業づくり・活動づくりについて理解を深めます。		
対 象	小・中・高・中等教育・特別支援学校の総括教諭及び教諭、養護教諭、栄養教諭		
備 考	【横浜国立大学教育学部附属教育デザインセンター連携研修講座】 横浜国立大学教育学部附属教育デザインセンターが主催する講座です。 申込みは、横浜国立大学教育学部附属教育デザインセンターのホームページより直接行ってください。 ※この講座は、基本研修の選択研修講座には含まれません。	受講決定	先着順決定型
		問合せ先	横浜国立大学教育学部附属教育デザインセンター ☎(045)339-3481 総合教育センター教育相談課 ☎(0466)81-1576 (直通)

講座名	「発達障害のある子どもの行動問題への支援」研修講座		
期 日	平成 29 年 8 月 24 日（木） 13：45～16：15		
会 場	おださがプラザ（小田急相模原駅文化交流プラザ） ラクアル・オダサガ 4F 多目的ルーム (相模原市南区南台 3-20-1) 案内図は こちら	定 員	80
内 容	講義・演習「行動問題の理解と指導上のポイント」 横浜国立大学教職大学院 教授 渡部 匡隆		
目 的	発達障害のある児童・生徒の行動問題について、応用行動分析の視点から理解し、児童・生徒の社会参加を支援する指導プログラムについて理解を深めます。		
対 象	小・中・高・中等教育・特別支援学校の総括教諭及び教諭、養護教諭、栄養教諭		
備 考	【横浜国立大学教育学部附属教育デザインセンター連携研修講座】 横浜国立大学教育学部附属教育デザインセンターが主催する講座です。 申込みは、横浜国立大学教育学部附属教育デザインセンターのホームページより直接行ってください。 ※この講座は、基本研修の選択研修講座には含まれません。	受講決定	先着順決定型
		問合せ先	横浜国立大学教育学部附属教育デザインセンター ☎(045)339-3481 総合教育センター教育相談課 ☎(0466)81-1576 (直通)

※ 定員の欄の（ ）内は、基本研修の選択研修講座の受け入れとして優先する人数です。

○ 横浜国立大学教育学部附属特別支援学校

講座名	「インクルーシブ教育推進公開講座 1 ～一人一人の可能性を最大限に開花～」研修講座		
期 日	平成 29 年 7 月 26 日（水） 9：00～12：00		
会 場	横浜国立大学教育学部附属特別支援学校 （横浜市南区大岡 2-31-3）	定 員	40
内 容	講義「神奈川のインクルーシブ教育の推進」 横浜国立大学教授 講義・演習「学び方の理解と発達支援」 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所主任研究員 海津 亜希子		
目 的	講義及び演習を通して、特別支援教育、インクルーシブ教育及び障害者支援に係る理論や実践を学びます。		
対 象	小・中・高・中等教育・特別支援学校の総括教諭及び教諭、養護教諭		
備 考	【横浜国立大学教育学部附属特別支援学校連携講座】 横浜国立大学教育学部附属特別支援学校が主催する講座です。 申込みは「総合教育センター 自己研鑽のための研修講座」のページから、申込みフォームを利用してください。 http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/kensyuSnavi/29kouzaannnai/kensan/91005.html	受講決定	先着順決定型
		申込締切	6月28日（水）
		問合せ先	総合教育センター 企画広報課 ☎(0466)81-1759 (直通)

講座名	「インクルーシブ教育推進公開講座 2 ～地域と学校との連携・協働による地域社会の創生～」研修講座		
期 日	平成 29 年 7 月 26 日（水） 13：30～16：30		
会 場	横浜国立大学教育学部附属特別支援学校 （横浜市南区大岡 2-31-3）	定 員	40
内 容	講義「南区における共生社会の推進」 地域活動ホームどんとこいみなみ所長 中根 幹夫 講義「障がい者後見的制度とそのニーズ」 南区社会福祉施設職員		
目 的	講義及び演習を通して、特別支援教育、インクルーシブ教育及び障害者支援に係る理論や実践を学びます。		
対 象	小・中・高・中等教育・特別支援学校の総括教諭及び教諭、養護教諭		
備 考	【横浜国立大学教育学部附属特別支援学校連携講座】 横浜国立大学教育学部附属特別支援学校が主催する講座です。 申込みは「総合教育センター 自己研鑽のための研修講座」のページから、申込みフォームを利用してください。 http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/kensyuSnavi/29kouzaannnai/kensan/91006.html	受講決定	先着順決定型
		申込締切	6月28日（水）
		問合せ先	総合教育センター 企画広報課 ☎(0466)81-1759 (直通)

※ 定員の欄の（ ）内は、基本研修の選択研修講座の受け入れとして優先する人数です。

講座名	「インクルーシブ教育推進公開講座 3 ～多様性を尊重する共生社会の実現～」研修講座		
期 日	平成 29 年 7 月 31 日（月） 9：00～12：00		
会 場	横浜国立大学教育学部附属特別支援学校 （横浜市南区大岡 2-31-3）	定 員	40
内 容	講義・演習「スポーツを通じた共生社会」（仮題） パラリンピック金メダリスト 河合 純一 講義・演習「発達障害のある児童生徒の行動問題への理解と支援」 横浜国立大学教授 渡部 匡隆		
目 的	講義及び演習を通して、特別支援教育、インクルーシブ教育及び障害者支援に係る理論 や実践を学びます。		
対 象	小・中・高・中等教育・特別支援学校の総括教諭及び教諭、養護教諭		
備 考	【横浜国立大学教育学部附属特別支援学校連携講座】 横浜国立大学教育学部附属特別支援学校が主催する講 座です。 申込みは「総合教育センター 自己研鑽のための研修講 座」のページから、申込みフォームを利用してください。 http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/kensyuS navi/29kouzaaannnai/kensan/91007.html	受講決定	先着順決定型
		申込締切	6 月 28 日（水）
		問合せ先	総合教育センター 企画広報課 ☎(0466)81-1759 (直通)

講座名	「インクルーシブ教育推進公開講座 4 ～本人参加の授業づくりとキャリア支援～」研修講座		
期 日	平成 29 年 7 月 31 日（月） 13：30～16：30		
会 場	横浜国立大学教育学部附属特別支援学校 （横浜市南区大岡 2-31-3）	定 員	40
内 容	実践報告「本校の実践①社会参加と進路支援」 横浜国立大学教育学部附属特別支援学校教諭 牧 裕二 実践報告「本校の実践②本人参加の IEP に基づく授業実践」 横浜国立大学教育学部附属特別支援学校教諭 高橋 道子		
目 的	講義及び演習を通して、特別支援教育、インクルーシブ教育及び障害者支援に係る理論 や実践を学びます。		
対 象	小・中・高・中等教育・特別支援学校の総括教諭及び教諭、養護教諭		
備 考	【横浜国立大学教育学部附属特別支援学校連携講座】 横浜国立大学教育学部附属特別支援学校が主催する講 座です。 申込みは「総合教育センター 自己研鑽のための研修講 座」のページから、申込みフォームを利用してください。 http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/kensyuS navi/29kouzaaannnai/kensan/91008.html	受講決定	先着順決定型

※ 定員の欄の（ ）内は、基本研修の選択研修講座の受け入れとして優先する人数です。

○ 横浜国立大学教育学部附属特別支援学校

講座名	平成 29 年度横浜国立大学教育学部附属特別支援学校 「知的障害 における「社会に開かれた 課程」に向け ～」																										
期 日	平成 29 年 12 月 9 日（土） 9：30～16：55 ※受付 9：00～9：30																										
会 場	横浜国立大学教育学部附属特別支援学校 (横浜市南区大岡 2-31-3)	定 員	(80)																								
内 容	<p>1. 公開授業 新学習指導要領に示された「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、自立と社会参加を図る視点で実践した授業を公開します（小学部、中学部、高等部）。</p> <p>2. 会（会） 研究主題に関する学校としての取り組み、今後の方向性などを紹介します。</p> <p>3. ポスター発表（課題研究発表） ※昼食休憩時間に実施 研究主題以外の課題などについて、職員が自主的に取り組んでいる研究活動とその内容を、ポスター発表形式で紹介し（担当職員がいる場合は、情報交換を行うことができます）。</p> <p>4. （会） 地域・外部資源の活用した授業実践を通して、子どもの学び、教育内容・方法等について研究協議（情報共有・意見交換）を行う予定です。学部毎に、分科会に分かれて実施します。</p> <p>5. インクルーシブ教育推進研修会 横浜国立大学教育学部特別支援教育講座と連携し、講座の先生方による最新の研究動向や具体的事例をふまえた研修会です。</p> <p>(1) インクルーシブ教育推進研修会①</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>演 題</th> <th>講 師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>聴覚障害から聴覚過敏、聴覚の不思議</td> <td>中川辰雄 教育学部教授</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>愛着（アタッチメント）とは</td> <td>泉真由子 教育学部教授</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>子どもの実態把握における神経科学の応用—対話の手がかり—</td> <td>軍司敦子 教育学部准教授</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) インクルーシブ教育推進研修会②</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>演 題</th> <th>講 師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D</td> <td>学習障害の読み書き支援について</td> <td>後藤隆章 教育学部講師</td> </tr> <tr> <td>E</td> <td>問題行動！クラスワイドな支援から個別支援へ</td> <td>関戸英紀 教育学部教授</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>運動に困難さがある子どもの理解と対応</td> <td>徳永亜希雄 教育学部准教授</td> </tr> </tbody> </table>				演 題	講 師	A	聴覚障害から聴覚過敏、聴覚の不思議	中川辰雄 教育学部教授	B	愛着（アタッチメント）とは	泉真由子 教育学部教授	C	子どもの実態把握における神経科学の応用—対話の手がかり—	軍司敦子 教育学部准教授		演 題	講 師	D	学習障害の読み書き支援について	後藤隆章 教育学部講師	E	問題行動！クラスワイドな支援から個別支援へ	関戸英紀 教育学部教授	F	運動に困難さがある子どもの理解と対応	徳永亜希雄 教育学部准教授
	演 題	講 師																									
A	聴覚障害から聴覚過敏、聴覚の不思議	中川辰雄 教育学部教授																									
B	愛着（アタッチメント）とは	泉真由子 教育学部教授																									
C	子どもの実態把握における神経科学の応用—対話の手がかり—	軍司敦子 教育学部准教授																									
	演 題	講 師																									
D	学習障害の読み書き支援について	後藤隆章 教育学部講師																									
E	問題行動！クラスワイドな支援から個別支援へ	関戸英紀 教育学部教授																									
F	運動に困難さがある子どもの理解と対応	徳永亜希雄 教育学部准教授																									
目 的	横浜国立大学教育学部附属特別支援学校が取り組んでいる本人参加による自立と社会参加を図る授業づくりをもとに、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けた研究協議を行い、特別支援教育及びインクルーシブ教育の実践力の向上を図ります。																										
対 象	小・中・高・中等教育・特別支援学校の総括教諭及び教諭、養護教諭																										
申 込	<p>○基本研修の選択研修講座として受講の場合 5月8日～15日に、総合教育センターのホームページからお申込みください。 ※選択研修講座として申し込まれた方は「インクルーシブ教育推進研修会①・②」の選択講座の希望調査に関する案内文書をダウンロードし、必ず内容を御確認ください。 案内文書は、10月3日（火）以降、総合教育センターホームページに掲載します。</p> <p>○自己研鑽として受講を希望の場合 横浜国立大学教育学部附属特別支援学校のホームページを御覧ください。 (ホームページアドレス) http://fuyou.ynu.ac.jp/</p>																										
備 考	【横浜国立大学教育学部附属特別支援学校連携講座】 横浜国立大学 教育学部附属特別支援学校が主催する講座です。 上履き、靴袋をご持参ください。弁当・飲み物等の販売を予定しています。																										
問合せ先	総合教育センター 企画広報課 ☎(0466)81-1759(直通)																										

※ 定員の欄の（ ）内は、基本研修の選択研修講座の受け入れとして優先する人数です。

2 鎌倉女子大学

講座名	「児童生徒理解に役立つカウンセリング」研修講座		
期 日	平成 29 年 8 月 10 日（木） 13：30～16：30		
会 場	総合教育センター善行庁舎	定 員	40（25）
内 容	講義「カウンセリングの基本的な知識と態度について」 演習「ロールプレイング」 鎌倉女子大学准教授 伊藤嘉奈子		
目 的	学校現場では、さまざまな問題行動を抱えた児童生徒に対する心のケアが求められています。この講座では、カウンセリングを初めて学ぶ方を対象に、傾聴や共感などのカウンセリングマインドを講義と演習により学び、教育実践に活用することを考えます。		
対 象	小・中・高・中等教育・特別支援学校の総括教諭及び教諭、養護教諭		
備 考	【鎌倉女子大学連携講座】 鎌倉女子大学が主催する講座です。	受講決定	先着順決定型
	申込みは「総合教育センター 自己研鑽のための研修講座」のページから、申込みフォームを利用してください。 http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/kensyuSnavi/29kouzaannnai/kensan/91011.html ※基本研修の選択研修講座として受講する場合は、総合教育センターのHPからお申込みください。	申込締切	8月3日（木）
		問合せ先	総合教育センター 企画広報課 ☎(0466)81-1759 (直通)

※ 定員の欄の（ ）内は、基本研修の選択研修講座の受け入れとして優先する人数です。

3 神奈川大学

講座名	「アクティブ・ラーニングの評価のあり方」 —「学びの姿」を的確にとらえるために— (第 12 回 神奈川大学高大連携協議会フォーラム)		
期 日	平成 29 年 8 月 4 日 (金) 12:50~17:00		
会 場	神奈川大学横浜キャンパス (横浜市神奈川区六角橋 3-27-1)	定 員	150 (105)
内 容	<p>【基調講演】「アクティブ・ラーニングの学習評価の在り方 ～多様な資質・能力を測るルーブリックの活用」 早稲田大学教職大学院 教授 田中 博之氏</p> <p>【実践発表Ⅰ】(タイトル未定) 静岡県立浜松北高等学校 教諭 大村 勝久氏</p> <p>【実践発表Ⅱ】(未定)</p> <p>【実践発表Ⅲ】(未定)</p> <p>【パネルディスカッション】 パネリスト：上記 2 名 他 モデレーター：神奈川県立藤沢清流高等学校 総括教諭 小島 昭彦氏</p>		
目 的	<p>前回の本フォーラムにおいて、アクティブ・ラーニングを取り上げ、高等学校、大学、企業の実践事例の発表等を通じ、高等学校、大学等がその垣根を越えて協議した。12 回目となる今回のフォーラムでは、アクティブ・ラーニングの評価に焦点をあて、生徒の学習活動の結果、アクティブ・ラーニングによって身につけられた多様な資質・能力の評価は、どうあるべきなのか協議する。</p>		
対 象	高・中等教育・特別支援学校の総括教諭及び教諭		
備 考	【神奈川大学連携講座】 神奈川大学高大連携協議会が主催する講座です。	受講決定	先着順決定型
	申込みは「総合教育センター 自己研鑽のための研修講座」のページから、申込みフォームを利用してください。 http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/kensyuSnavi/29kouzaannnai/kensan/91012.html	申込締切	7 月 14 日 (金)
	※基本研修の選択研修講座として受講する場合は、総合教育センターのHPからお申込みください。	問合せ先	総合教育センター 企画広報課 ☎(0466)81-1759 (直通)

※ 定員の欄の（ ）内は、基本研修の選択研修講座の受け入れとして優先する人数です。

講座名	教員としての「組織マネジメント」研修		
期 日	平成 29 年 8 月 3 日（木） 13：30～16：30		
会 場	神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター （横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 14階）	定 員	46（18）
内 容	<p>講義・個人実習・グループ実習による研修となります。</p> <p>I 組織マネジメントの基礎理解</p> <p>(1) 「マネジメント行動」チェック (2) 「マネジメントの全体像・構成要素」の理解 (3) 「学校組織のマネジメント」を考える (4) 「組織を活性化するマネジメント要件」（リーダー職務の理解）</p> <p>II マネジメント・スキルの向上</p> <p>(1) 「3つのマネジメント・スキル」についての考察 (2) 「異業種から学ぶリーダーの条件」</p> <p style="text-align: right;">講師：（株）NK S 能力開発センター所属講師</p>		
目 的	学校という組織、各部署等の組織におけるマネジメント要件を研修し、より総合力の高い学校組織の具現化への一助にすることをねらいとします。		
対 象	小・中・高・中等教育・特別支援学校の総括教諭、教諭、養護教諭、実習助手		
備 考	【神奈川大学連携講座】 神奈川大学高大連携協議会が主催する講座です。	受講決定	先着順決定型
	申込みは「総合教育センター 自己研鑽のための研修講座」のページから、申込みフォームを利用してください。 http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/kensyuSnavi/29kouzaannnai/kensan/91013.html	申込締切	7月27日（木）
	※基本研修の選択研修講座として受講する場合は、総合教育センターのHPからお申込みください。	問合せ先	総合教育センター 企画広報課 ☎(0466)81-1759 (直通)

※ 定員の欄の（ ）内は、基本研修の選択研修講座の受け入れとして優先する人数です。

講座名	教員としての「ストレス耐性強化」研修		
期 日	平成 29 年 8 月 1 日（火） 13：30～16：30		
会 場	神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター （横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 14階）	定 員	46（18）
内 容	<p>講義・個人実習・グループ実習による研修となります。</p> <p>I ストレスについての基礎理解 (1) 「ストレスを正しく理解する」 (2) 「様々なストレス」 (3) 「社会のストレスを理解する」 (4) 「自分のストレス状態に気付く」 (5) 「認知の仕方がストレスを左右する」 (6) 「認知の 3 つの反応パターン」 (7) 「学校のストレスを考える」</p> <p>II ストレス・コントロールの手法 (8) 「ストレス・コントロールの考え方」 (9) 「学校のストレスを軽減するには？」</p> <p style="text-align: right;">講師：(株)NKS 能力開発センター所属講師</p>		
目 的	教員・生徒・保護者共に「ストレスが多い」ことが、昨今の学校を取り巻く特徴・問題点としてあげられています。この研修では、こうした実態に対応するためのスキルと対処方を身につけることを目的としています。		
対 象	小・中・高・中等教育・特別支援学校の総括教諭、教諭、養護教諭、実習助手		
備 考	<p>【神奈川大学連携講座】 神奈川大学高大連携協議会が主催する講座です。</p> <p>申込みは「総合教育センター 自己研鑽のための研修講座」のページから、申込みフォームを利用してください。 http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/kensyuSnavi/29kouzaannnai/kensan/91014.html</p> <p>※基本研修の選択研修講座として受講する場合は、総合教育センターのHPからお申込みください。</p>	受講決定	先着順決定型
		申込締切	7 月 25 日（火）
		問合せ先	総合教育センター 企画広報課 ☎(0466)81-1759 （直通）

※ 定員の欄の（ ）内は、基本研修の選択研修講座の受け入れとして優先する人数です。

4 文教大学

講座名	「英語教育指導法」研修講座		
期 日	平成 29 年 8 月 23 日（水） 13：30～16：30		
会 場	文教大学湘南キャンパス（茅ヶ崎市行谷 1100）	定 員	50（25）
内 容	講義・ワークショップ「コミュニケーションを支える英文法指導」 文教大学教授 阿野幸一		
目 的	英文法指導について参加の先生方と一緒に考えます。「形」と「意味」を教えるだけの知識伝達型の指導ではなく、「使用」の視点を取り入れてコミュニケーションに役立つ英文法指導を行うにはどのように授業を組み立てていったらいいかを、授業の目標設定と言語活動の取り入れ方を中心に演習形式で行います。		
対 象	中・高・中等教育・特別支援学校の総括教諭及び教諭※英語科担当教員		
備 考	【文教大学連携講座】 文教大学が主催する講座です。	受講決定	先着順決定型
	申込みは「総合教育センター 自己研鑽のための研修講座」のページから、申込みフォームを利用してください。 http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/kensyuSnavi/29kouzaannnai/kensan/91015.html	申込締切	8 月 10 日（木）
	※基本研修の選択研修講座として受講する場合は、総合教育センターのHPからお申込みください。	問合せ先	総合教育センター 企画広報課 ☎(0466)81-1759 (直通)

※ 定員の欄の（ ）内は、基本研修の選択研修講座の受け入れとして優先する人数です。

講座名	平成 29 年度 文教大学高大連携（教員間交流プログラム） 「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）による『学修力』向上を目指したキャリア教育のあり方」研修講座【午前開催】		
期 日	平成 29 年 8 月 23 日（水） 9：30～12：30		
会 場	文教大学湘南キャンパス（茅ヶ崎市行谷 1100）	定 員	250（100）
内 容	《研修テーマ》 「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）による『学修力』向上を目指したキャリア教育のあり方」 【実践事例を含めた講演会】 「主体的・対話的で深い学びによる具体的な授業でのキャリア教育的な指導方略」（仮） 静岡県立韮山高等学校 教諭 鈴木映司 【討論会】 テーマ「主体的・対話的で深い学びによる『学修力』及び『授業力』向上の在り方」（仮） 話題提供者：キャリアガイダンス編集顧問 角田浩子 静岡県立韮山高等学校 教諭 鈴木映司 神奈川県立茅ヶ崎西浜高等学校 教諭 鎌田高德 神奈川県立藤沢清流高等学校 総括教諭 小島昭彦		
目 的	本会が意味する主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）とは、「思考を活性化する」学修形態を指します。教育者として、生徒の学修に対する関心や意欲を向上させ、自ら課題を設定して解決する力を育成するために、授業内容や授業方法を改善していく必要があるといえます。そのうえで、キャリア教育的視点に基づいた教育開発（Educational Development）の実践的な方法として、拡張学修の方法を学びます。		
対 象	小・中・高・中等教育・特別支援学校の総括教諭、教諭、養護教諭、実習助手		
備 考	【文教大学連携講座】 文教大学高大連携運営委員会が主催する講座です。	受講決定	先着順決定型
	申込みは「総合教育センター 自己研鑽のための研修講座」のページから、申込みフォームを利用してください。 http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/kensyuSnavi/29kouzaaannnai/kensan/91016.html ※基本研修の選択研修講座として受講する場合は、総合教育センターのHPからお申込みください。	申込締切	8月10日（木）
		問合せ先	総合教育センター 企画広報課 ☎(0466)81-1759 （直通）

【ファカルティ・ディベロップメント】（FD：Faculty Development）

教員が授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な取組の総称。具体的な例としては、教員相互の授業参観の実施、授業方法についての研究会の開催、新任教員のための研修会の開催等を挙げることができる。

【アクティブ・ラーニング】（AL：Active Learning）

教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的な能力、教養、知識、経験を含めた汎用的な能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である。（主体的・対話的で深い学び）

※ 定員の欄の（ ）内は、基本研修の選択研修講座の受け入れとして優先する人数です。

講座名	平成 29 年度 文教大学高大連携（教員間交流プログラム） 推進される主体的・対話的で深い学びによる「キャリア教育」夏季研究会 【午後開催】		
期 日	平成 29 年 8 月 23 日（水） 13：30～17：00		
会 場	文教大学湘南キャンパス（茅ヶ崎市行谷 1100）	定 員	250（100）
内 容	研究会テーマ 「推進される主体的・対話的で深い学びによる『キャリア教育』充実のための方策」（仮） ～望ましい勤労観・職業観を培うキャリア教育及び人材育成について～ 【講演会】 テーマ「社会が求める人材育成のためのキャリア教育推進と展望」（仮） 株式会社マイナビ 研修企画統括部運営開発部部长 山田 功生 【討論会】 テーマ「望ましい勤労観・職業観を培うキャリア教育及び人材育成」（仮） パネリスト：株式会社マイナビ 研修企画統括部運営開発部部长 山田 功生 ハイテクメイト湘南会長 森田 雅己 神奈川県立平塚商業高等学校教諭 穂田 智範 東京都高等学校進路指導協議会事務局長 浦部ひとみ		
目 的	職業直結型のキャリア教育ではなく、小学校段階から大学等の上級学校で、より良く生きていくために必要とされるキャリア教育の重要性、意義について理解を深め、「望ましい勤労観・職業観」をキーワードに、先進的な理論や取組事例、実践プログラムなどを学びます。		
対 象	小・中・高・中等教育・特別支援学校の総括教諭、教諭、養護教諭、実習助手		
備 考	【文教大学連携講座】 文教大学高大連携運営委員会が主催する講座です。 申込みは「総合教育センター 自己研鑽のための研修講座」のページから、申込みフォームを利用してください。 http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/kensyuSnavi/29kouzaaannnai/kensan/91017.html ※基本研修の選択研修講座として受講する場合は、総合教育センターのHP からお申込みください。	受講決定	先着順決定型
		申込締切	8月10日（木）
		問合せ先	総合教育センター 企画広報課 ☎(0466)81-1759 （直通）

職業観・勤労観の育成に当たっては、「自分なりの職業観・勤労観」という多様性を大切にしながらも、それらに共通する土台として、以下のような「望ましさ」を備えたものを目指すことが求められる。

「望ましさ」の要件としては、基本的な理解・認識面では、

- ①職業には貴賤がないこと
 - ②職務遂行には規範の遵守や責任が伴うこと
 - ③どのような職業であれ、職業には生計を維持するだけでなく、それを通して自己の能力・適性を発揮し、社会の一員としての役割を果たすという意義があることなどが上げられるであろうし、
- 情意・態度面では、
- ①一人一人が自己及びその個性をかけがえのない価値あるものであるとする自覚
 - ②自己と働くこと及びその関係についての総合的な検討を通じた、職業・勤労に対する自分なりの構え
 - ③将来の夢や希望の実現を目指して取り組もうとする意欲的な態度
- などがそれに当たると考えられる。

国立教育政策研究所生徒指導研究センター 児童生徒の職業観・勤労観を育む教育の推進について（調査研究報告書）より

※ 定員の欄の（ ）内は、基本研修の選択研修講座の受け入れとして優先する人数です。

5 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部

講座名	「読書教育」研修講座		
期 日	平成 29 年 8 月 1 日（火） 13：30～16：30		
会 場	善行庁舎	定 員	35（17）
内 容	講義・演習「読書指導と図書館利用指導」 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部教授 宮津大蔵		
目 的	なぜ読書が必要なのか、学校教育は子どもたちの読書のために何ができるのか、という根本的なところから読書教育について考え、国語科の学習から読書指導や図書館利用指導につなげる実践について、ワークショップ形式を通して体験的に学びます。		
対 象	小・中・高・中等教育・特別支援学校の総括教諭及び教諭		
備 考	【桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部連携講座】 桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部が主催する講座です。	受講決定	先着順決定型
	使用する教材は、小学校 5 年「大造じいさんとガン」ですが、どの校種にも応用可能だと思います。読み聞かせの指導ではなく、児童・生徒が教材を読んでものの見方、感じ方、考え方を広げたり深めることを目指す内容です。	申込締切	7 月 25 日（火）
	申込みは「総合教育センター 自己研鑽のための研修講座」のページから、申込みフォームを利用してください。 http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/Snavi/kensyuSnavi/29kouzaannnai/kensan/91018.html ※基本研修の選択研修講座として受講する場合は、総合教育センターのHPからお申込みください。	問合せ先	総合教育センター 企画広報課 ☎(0466)81-1759 (直通)